

統合開発環境 High-performance Embedded Workshop V.4.06.00 へのリビジョンアップのお知らせ

High-performance Embedded Workshopを V.4.05.01 から V.4.06.00 へリビジョン アップしました。

本製品は、コンパイラやエミュレータデバッガなどのソフトウェア製品にバンドル されています。
High-performance Embedded Workshopの詳細は以下の製品ページを参照ください。

<http://japan.renesas.com/hew>

1. アップデート対象製品

High-performance Embedded Workshop V.3.00.00 ~ V.4.05.01

High-performance Embedded Workshopのバージョンは、メニューの「ヘルプ」から「High-performance Embedded Workshopのバージョン情報」を選択すると確認できます。

2. リビジョンアップ内容

2.1 機能改善

以下の6点の機能改善を実施しました。

(1) メモリウィンドウの表示コード

選択できる表示コードに、UTF-8、複素数、および虚数を追加しました。

(2) ELF/DWARF2形式のロードモジュールファイルをデバッグする際の機能

ELF/DWARF2形式のロードモジュールファイルをデバッグする際の機能に以下の3点を追加しました。

(a) 複素数型および虚数型変数の値の表示および変更

以下のウィンドウおよび機能を使用した場合、C99言語仕様で定義された複素数型および虚数型の変数の値を表示できます。

- スタックトレースウィンドウ
- ウォッチウィンドウ
- ローカルウィンドウ

- ツールチップウォッチ機能
- インスタントウォッチ機能

なお、変数値の変更はウォッチウィンドウまたはローカルウィンドウでのみ行えます。

(b) 変数値のUTF-8形式の文字コードの表示

以下のウィンドウまたは機能で、文字または文字列の変数値を参照する場合に、UTF-8形式で参照できるようになりました。

- スタックトレースウィンドウ
- ウォッチウィンドウ
- ローカルウィンドウ
- ツールチップウォッチ機能
- インスタントウォッチ機能

(c) 1ソース行への複数ブレイクポイントの設定

テンプレート関数のインスタンスが複数ある場合、関数の定義行に対して存在するインスタンスすべてにソフトウェアブレイクポイントを設定できます。これにともない、`set_source_soft_break`コマンドの`operation`パラメータに"all"キーワードを追加しました。

(3) 16進浮動小数点定数値の入力

以下のウィンドウで、浮動小数点数の入力値として16進浮動小数点定数が使用できます。

- ウォッチウィンドウ
- ローカルウィンドウ

(4) コードカバレッジ情報のファイル保存

以下のエミュレータソフトウェアを使用する際、ファイルに保存するコードカバレッジ結果をアドレス順にソートして出力するようにしました。

- E100エミュレータソフトウェア
- E200Fエミュレータソフトウェア
- AE-5シリーズ用E6000Hエミュレータソフトウェア
- AE-4シリーズ用E6000エミュレータソフトウェア

(5) プロファイルウィンドウの表示

以下のソフトウェア製品を使用する場合、プログラム実行前にプロファイルウィンドウのListシート内で選択していた行を、プログラム実行停止後も、ウィンドウに表示されるようにしました。

- SuperHファミリ用シミュレータデバッグ
- H8SX,H8S,H8ファミリ用シミュレータデバッグ
- E200Fエミュレータソフトウェア
- E6000Hエミュレータソフトウェア

- SuperHファミリ用E10A-USBエミュレータソフトウェア

(6) リアルタイムOS対応デバッグ機能

(a) サポートリアルタイムOSの追加

新たにTOPPERS/ASPカーネルをサポートしました。

(b) タスク名称のサポート

Micrium社製μC/OS-IIを使用した場合、デバッガのウィンドウにタスク名称を表示する機能をサポートしました。

(c) OS定義ファイル選択ダイアログボックス

以下のデバッガ上で、リアルタイムOSを含んだロードモジュールをロードした時、OS定義ファイル選択ダイアログボックスを自動的に開くようにしました。

- SuperHファミリ用シミュレータデバッガ V.9.08.00以降
- H8SX,H8SおよびH8ファミリ用シミュレータデバッガ V.5.07.00以降
- E100エミュレータソフトウェア V.1.00 Release 00以降
- E8aエミュレータソフトウェア V.1.02 Release 00以降
- E10A-USBエミュレータソフトウェア V.3.00 Release 00以降

なお、上記の機能改善によって、RENASAS TOOL NEWS 資料番号 090201/tn2 で連絡した問題が改善されました。

問題の詳細は、以下のURLで参照ください。

<http://tool-support.renesas.com/jpn/toolnews/090201/tn2.htm>

3. アップデート方法

無償でオンラインアップデートできます。以下のいずれかの方法でアップデートしてください。

(1) オートアップデートユーティリティを使用する

(7月7日からサービス開始予定)。

(2) 以下にあるダウンロードサイトからアップデートプログラムを

ダウンロードして実行する (7月6日から公開予定)。

http://japan.renesas.com/hew_download

アップデートプログラムには、以下の2種類があります。必要に応じていずれかによりアップデートしてください。

- フルアップデートプログラム

High-performance Embedded Workshop V.3.00.00以降に変更のあったHigh-performance Embedded Workshopのコンポーネントをアップデートします。V.3.00.00以降のバージョンがインストールされている場合にアップデートできます。

- 差分アップデートプログラム

High-performance Embedded Workshop V.4.05.01から変更のあったHigh-performance Embedded Workshopのコンポーネントを

アップデートします。V.4.05.01がインストールされている場合にアップデートできます。

4. Install Manager (インストールマネージャ)を使用して High-performance Embedded Workshopをアンインストールする際の注意事項

4.1 内容

Install Managerを使用してHigh-performance Embedded Workshopをアンインストールする際、「アンインストール」ボタンをクリックしても、アンインストールが開始されない場合があります。

4.2 発生条件

以下の条件がすべて満たされた場合に発生します。

- (1) Install ManagerのバージョンがV.1.00.00またはV.1.02.00である。
- (2) High-performance Embedded WorkshopのバージョンがV.4.05.00以上である。

Install Managerのバージョンは、Install Managerの「メンテナンス」ウィンドウで「バージョン情報」ボタンをクリックすると確認できます。
なお、「バージョン情報」ボタンがない場合はV.1.00.00です。

4.3 回避策

以下の手順でHigh-performance Embedded Workshopをアンインストールしてください。

- (1) Install Managerの「メンテナンス」ウィンドウで、上側のリストからアンインストールする High-performance Embedded Workshopを選択し、「アクティブ対象の変更」ボタンをクリックする。
- (2) Windows(R) 上の「コントロールパネル」から「プログラムの追加と削除」を実行し、High-performance Embedded Workshopを削除する。

4.4 恒久対策

本問題はInstall Manager V.1.03.00で改修しました。

Install Manager V.1.03.00は、High-performance Embedded Workshop V.4.05.01以降を同梱したコンパイラパッケージおよびエミュレータデバッグに同梱しています。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

